

「共感する力」

あの人の心の苦しみがわかる。あの人のやるせない気持ちがわかる。
 そのように他人のもつ真実のものに共感できるのは、地球上の生き物
 の中で人間しかいない。

(いのちの言葉 日野原 茂明より)



東風解凍(はるかぜこおりをとく)

春の兆しとなる暖かい風が吹き始め、冬の間張りつめた氷を少しずつ溶かし始める頃、いよいよ春の足音が聞こえ始めます。まだまだ大寒を過ぎたばかりで朝晩の冷え込みはありますが、春の訪れを期待させる季節となりました。

子どもたちは少しずつ身の回りのことにも興味を持ち、進級に向け自分で出来ることも増えてきました。また、友だちとの関わりも多く見られ、顔を寄せ合い笑いあったり泣いている子がいると側に行き慰めるよう頭をなでたり、おもちゃを手渡したりする姿も多く見られます。誰かが泣くと同時に泣き出すことも、周囲の人の不安を自分の不安として受け止める能力であると考えられています。子どもが何かしらのサインを出した時にしっかりと応答していくことで、自分を認めてくれた安心感や信頼、愛されているという実感から、自分の経験として他者へも同じように接することが出来るのではないのでしょうか。人と人とを結ぶ力が育つよう、一人ひとりの思いや欲求を理解し、安心して過ごせることを心がけ、気持ちに寄り添い同じ目線で共感していく保育を大切にしていきたいと考えます。

作品展では、製作や取り組む姿を写真と共に展示していますので是非ご覧いただき、子どもたちの1年の成長を共に喜び合いたいと思っております。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

2月聖句

喜ぶ人と共に喜び、
 泣く人と共に泣きなさい。

ローマの使徒への手紙 12章 15節

2月主題

「いっしょに」0歳 1歳

- ・寒さの中にも神様が春を備えていてくださることを感じる
- ・保育者や友だちとやりとりしながら、模倣遊びを楽しむ。
- ・手や指を十分使って遊ぶ。

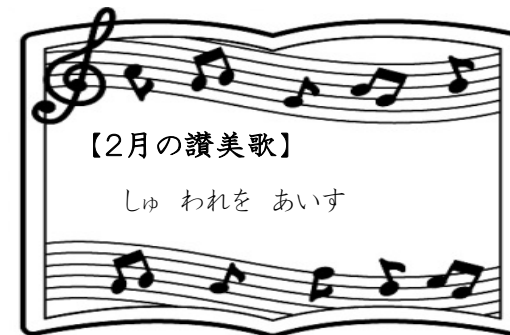


～0歳児 mer(海)組・1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

冬から春への変り目と言われている節分を前にして、まだまだ寒い気候も続いています。少しずつ日が延び着実に春の足音を感じます。

5ヶ月児は手足を盛んに動かし、寝返りをしようと腰をひねる姿が多く見られるようになりました。保育者や友達がそばに来ると手を伸ばし触れようしたり、嬉しそうに声をだしかわいらしく笑う姿を見て少し大きな友達がそっと頭をなでたり、おもちゃを持って来たりと微笑ましい様子が見られます。そんな姿に思いやりの心が育まれていると感じ嬉しく思います。

給食やおやつでは、自分で食べてみようとする姿も多く手掴みや指でそっとスプーンに食べ物のをせ口に運んだり、上手にすくってみたり、スープの器を持ち「あー」と美味しそうな表情を見せています。友達に「おいしいね」と声を掛けたりと楽しい雰囲気の中で食事を楽しんでいます。好き嫌いも出てきましたが、無理強いせず、食に興味を湧かすような活動を取り入れながら進めていきたいと思っております。



【2月の讚美歌】

しゅ われを あいす



【2月のうた】

まめまき
 森のくまさん

	月	火	水	木	金	土	日
2月の予定表					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
		建国記念の日			身体測定		
	18	19	20	21	22	23	24
		誕生日会			避難訓練		
	25	26	27	28			
			クレイシュ通信				
◎衣服は動きやすく着脱のしやすいもので、フードや過度な飾りのあるものは危険になりますので、避けてください。すようお願いいたします。							